



▲水面に浮かんだ発砲スチロールの上を落ちないように渡ります

## 海 米山で姉妹都市入善町と交流事業 海洋性スポーツを通じて交流

姉妹都市富山県入善町の小中学生18人が、7月25日から27日までの3日間米山町を訪れ、町内の児童と交流をしました。この事業は、昭和初期の入善町からの入植をきっかけに、平成15年から行われているものです。歓迎セレモニーでは、入善町の代表生徒から布施孝尚市長に特産のジャンボスイカが贈られました。翌日は平筒沼ふれあい公園で、米山町内の児童とともに平筒沼周辺の散策やドラゴンボート、発泡渡りなどの海洋性スポーツを体験し、活動を通して子どもたちはお互いの友好を深めていました。

## 平 東和で句碑開眼除幕式 和の祈願「句碑除幕」

郷土の俳人佐藤青城（本名＝佐藤彌市）の句碑開眼除幕式が長崎原爆忌である8月9日、東和町錦織の寶林寺で行われました。除幕式は、青城生誕100年と柳絮句会結成60年を記念して行われ、柳絮句会の会員や寺の関係者約20名が出席。句碑には「北上川に逆波白き大南風」と刻まれており、夏の北上川に強い南風が吹き上がり、荒々しい白い逆波がたっている様子を詠んでいます。戦艦「長門」での洋上体験や教員時代の青少年への水泳指導の記憶とともに、平和の願いが秘められています。



▲除幕式に集まった寺の関係者や柳絮句会員の皆さん

## 新 石越でふれあい朝市 鮮な農産物を求めて

石越町内で生産した農産物を地域の皆さんと直接ふれあいながら販売する「ふれあい朝市」が8月12日、JAみやぎ登米石越支店駐車場を会場に開催されました。この朝市は、生産地域の素晴らしさや食の安心・安全を考えることを目的に、石越町朝市事業推進会議が年2回開催しているものです。石越産大豆を使用した豆腐・油揚げが入った「さんこやセット」は、あっという間に完売。新鮮な野菜や色とりどりの生花が並べられたブースでは、生産者とお客さんとの会話ははずみ、買い物を楽しんでいました。



▲新鮮な農産物を求める多くのお客さんにぎわいました



▲沢登りなどを通してたくさんの友達と交流を深めました

## 小 中田で「八ん子かっぱ村」 小学校最後の夏の思い出に

中田地区の小学6年生を対象とした交流合宿「八ん子かっぱ村」が、8月3日から5日までの3日間、国立花山青少年自然の家で開催されました。この事業は中学校入学前の仲間づくりと小学校最後の夏休みの思い出づくりを目的に開催されています。今年は170人の児童が参加し、沢登りやキャンプファイヤーなどのグループ活動を通してたくさんの友達との交流を楽しみました。参加した児童は「初めは不安だったけど、たくさんの友達ができ、中学校で再会するのが楽しみ」と話していました。



▲各出店とも大勢の子どもたちが集まり大人気でした

## ま 南方子育てサポートセンターでぽっぽまつり まつりだワッショイ

南方子育てサポートセンター（愛称：ぽっぽ）で8月4日、恒例となっている「ぽっぽまつり」が開催され、赤ちゃんからおばあちゃんまで142人が訪れました。まつりは、児童クラブの小学生による元気な踊りと手作り神輿で幕をあげ、待ちかねた子どもたちが一斉に出店コーナーに詰め掛けました。出店では小学生が店番になり大きな声で「いらっしゃい！いらっしゃい！」と呼びこみ、小さなお客さんは金魚すくい、輪投げなど夢中になって楽しんでいました。

## 縁 豊里児童クラブ夏休み親子事業 日って楽しいね

豊里多目的研修センターで8月4日、「縁日ごっこ」が行われました。このイベントは、豊里児童クラブの夏休み親子事業として行われたものです。参加した子どもたちは、ひも引きや的当てを体験したり、保護者会役員の皆さんが作ったカレーやかき氷などを食べたりしました。子どもたちからは、「的当てで欲しい物が当たらずに残念だったけど、カレーと焼きそばが美味しかったので良かった」などの感想が聞かれました。暑さを忘れ、親子で楽しい1日を過ごしました。



▲各コーナーには子どもたちの行列ができていました